

湖東農営指発第 170 号
令和 4 年（2022 年） 2 月 24 日

小麦生産農家の皆様へ

湖東農業協同組合
営 農 販 売 課

今後の小麦栽培管理について（情報提供）

日頃は、営農販売事業に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和 4 年産小麦の概況は、積雪の影響により生育が遅れており、圃場ごとにばらつきはあるものの管内全体的に平年と比べ茎数はやや少なく草丈は短い傾向です。

圃場ごとに生育状況を確認して、穂肥の施用・湿害対策（特に融雪後の排水作業）・雑草対策を行ってください。

記

排水対策

小麦の品質・収量を確保するには、排水対策が非常に重要です。分げつ期の湿害は穂数の減少と、収量及び品質の低下につながり、最終的に畑作物の直接支払交付金（数量支払）の交付金額が減少しますので、非常に重要です。

穂 肥

- ・ 基肥一発体系の場合

麦パンチ等の肥料を基肥に施用した場合は、原則として穂肥は不要です。

- ・ 一般施肥（穂肥を施用）の場合

穂肥で麦用セラコート R 2500 を施用する場合は、3 月 1 日前後に施用してください。「麦用セラコート R 2500 30 kg／10a」

種子小麦の穂肥について

2 月 28 日～3 月 6 日頃を目安に施用してください。

「麦用セラコート R 2500 20 kg／10a」

現在、生育が旺盛な圃場については倒伏の恐れがあるため、3 月 1 日以降に施用してください。

ご不明な点は、下記までご連絡下さい。

湖東地区 NTT 0749-45-1111 IP 050-5801-0551 営農販売課

愛東地区 NTT 0749-46-0076 IP 050-5802-3576 営農販売課愛東駐在